

2025年3月期第2四半期（中間期） 決算説明資料

リスクモンスター株式会社
証券コード3768

1. 2025年3月期 第2四半期(中間期) 重点施策・取り組み (P.2)	15. リスクモンスタージェループのビジネスモデル (P.21)
2. 決算サマリー (P.3)	16. DX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組み (P.22)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	17. 株主のための施策等 ① (P.23)
4. ビジネス分類別 業績 (P.5)	18. 株主のための施策等 ② (P.24)
(1) 法人会員向けビジネス 業績 (P.6)	19. 株主のための施策等 ③ (P.25)
(1) 法人会員向けビジネス ①与信管理サービス 業績 (P.7)	IRに関するお問合せ (P.26)
(1) 法人会員向けビジネス ②ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	TOPICS
(1) 法人会員向けビジネス ③教育関連 業績 (P.9)	「リスクモンスター財務診断シート」を提供開始(P.28)
(2) その他ビジネス ④BPOサービスを含むその他ビジネス 業績 (P.10)	業界トップクラス(自社調べ)の価格水準と、情報量の「e-与信ナビ」へ(P.29)
5. 会員数推移(四半期) (P.11)	リスモングループのサービスがIT導入補助金2024に認定(P.30)
6. 連結貸借対照表 (P.12)	リスモン独自の与信指標「RM格付」を改定！①(P.31)
7. 連結キャッシュ・フロー (P.13)	リスモン独自の与信指標「RM格付」を改定！②(P.32)
8. 2025年3月期 業績予想 (P.14)	リスクモンスタージェループの企業データベースが、「Salesforce」と連携可能に(P.33)
9. 今後の見通し (P.15)	『反社チェック定期サービス』提供開始(P.34)
10. RM財務格付による財務分析 ① (P.16)	「決算書AI-OCR」技術が特許取得！(P.35)
11. RM財務格付による財務分析 ② (P.17)	『Zoom』との予定連携機能をリリース(P.36)
12. 企業理念と長期ビジョン (P.18)	「安否確認メール自動配信」機能提供開始(P.37)
13. 『第8次中期経営計画(2024～2025年度)』全体的な基本方針 (P.19)	
14. 『第8次中期経営計画(2024～2025年度)』事業別の基本方針 (P.20)	

1Q(4月~6月)

2Q(7月~9月)

リリース

- ▶「リスクモンスター財務診断シート」申込受付開始(4月)
- ▶J-MOTTOスケジュール機能と「Zoom」の予定連携機能を提供開始(4月)
- ▶「J-MOTTOサービス」がIT導入補助金2024に認定(4月)
- ▶与信判断ツールである「e-与信ナビ」に「商業登記PDF」の機能や情報等を追加し、提供データを拡充させたうえで、新価格体系によるサービス提供を開始(6月)
- ▶「決算書分析システム」がIT導入補助金2024に認定(6月)
- ▶「リスモン・グリーンプロジェクト」植樹2,000本に到達(6月)
- ▶J-MOTTOが気象庁の緊急地震速報情報と連携した「安否確認メール自動配信」機能を提供開始(6月)
- ▶中国において「中国日系企業攻めモン」提供開始(6月)
- ▶社員研修サービス「サイバックスUniv.」がAWS認定ソフトウェアに(6月)
- ▶13期連続の増配となる1株当たり15円の配当を実施(6月)

▶eラーニング 提供開始したシリーズ、コース

- ・障害者雇用場面ごとの対応例
- ・“景品表示法”をスキマ時間で学べるマイクロラーニング
- ・お手軽健康フィットネス
- ・「内部統制」がなぜ必要なのか

- ▶無料アプリ「Riskmonster for Salesforce(ベータ版)」提供開始(7月)
- ▶「リスクモンスター財務診断シート」を無料提供、3月決算企業様のお申込受付(7月)
- ▶格付ロジックをバージョンアップし、倒産リスクを判別するRM格付を新たに30万社以上に付与(7月)
- ▶「反社チェック定期サービス」提供開始(8月)
- ▶「Rismon企業データ for Salesforce」を発表(9月)
- ▶「決算書AI-OCR」技術が特許取得(9月)

▶eラーニング 提供開始したシリーズ、コース

- ・社会人準備講座 内定者に役立つ知識と実践すべきアクション
- ・ChatGPTやCanva活用術など、eラーニングセミナー講師動画シリーズ150コース
- ・ITパスポート試験対策シリーズなどeラーニング13コース
- ・“商業登記簿の見方”や“知的財産権”、“労働法”などマイクロラーニング10コース
- ・AI時代の今こそ必要なロジカルシンキングを学ぶeラーニング2コース

リスモン調べ

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」(4月)
- ▶「就職したい企業・業種ランキング」(5月)
- ▶「中国半導体事業 2024年業界速報」(5月)
- ▶「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(6月)

リスモン調べ動画

- ▶「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」(4月)
- ▶「就職したい企業・業種」(5月)
- ▶「この企業に勤める人と結婚したい」(6月)

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「動産・債権譲渡登記設定企業に関する倒産分析(2024年版)」(7月)
- ▶「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(7月)
- ▶「手形等の決済期限短縮に関する影響アンケート」(7月)
- ▶「世界に誇れる日本企業」(8月)
- ▶「中国における斜陽産業調査ランキング」(8月)
- ▶「上場企業ケッサンピック」(9月)

リスモン調べ動画

- ▶「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(7月)
- ▶「世界に誇れる日本企業」(8月)
- ▶「上場企業ケッサンピック」(9月)

業界レポート

- ▶「広告業」「繊維・衣服等卸売業」(4月)
- ▶「宿泊業」「洗濯・理容・美容・浴場業」(5月)
- ▶「廃棄物処理業」「飲食品卸売業」(6月)

- ▶「娯楽業」「自動車整備業」(7月)
- ▶「飲食店」「職業紹介・労働者派遣業」(8月)
- ▶「食料品小売業」「食料品製造業」(9月)

中計

- ▶「AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化」
- ▶「クライアントへのDX化支援サービスの展開」
- ▶「デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進」

	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	増 減	前期比
売上高	1,811,162 千円	1,852,141 千円	40,979 千円	102.3 %
営業利益	150,914 千円	118,597 千円	△32,316 千円	78.6 %
経常利益	142,335 千円	122,851 千円	△19,484 千円	86.3 %
親会社株主に帰属する中間純損益 (△は損失)	79,723 千円	△1,190,532 千円	△1,270,255 千円	—
1株当たり中間純損益(EPS) (△は損失)	10.62 円	△160.92 円	△171.54 円	—
会員数(注)	13,851 ID	14,256 ID	405 ID	102.9 %

(注) 各サービスに重複登録している会員を含む

◆ 売上高

法人会員向けビジネスがほぼ前期並み、その他ビジネスが堅調であったため、前期を上回りました。

◆ 利益

主に与信管理サービス事業において既存会員のサービス利用が低調に推移していること、サービスシステム増強及びデータベースの充実を図るため企業情報取得の強化を継続しており、それに係る原価が増加していること等から利益は前期を下回りました。

また、株式会社東京商工リサーチが当社を被告として東京地方裁判所に訴訟を提起した件につきまして、当第2四半期(中間期)連結会計期間において、将来発生する可能性のある損失見込額等を特別損失(訴訟関連損失)として計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純損失となりました。

◆ 会員数

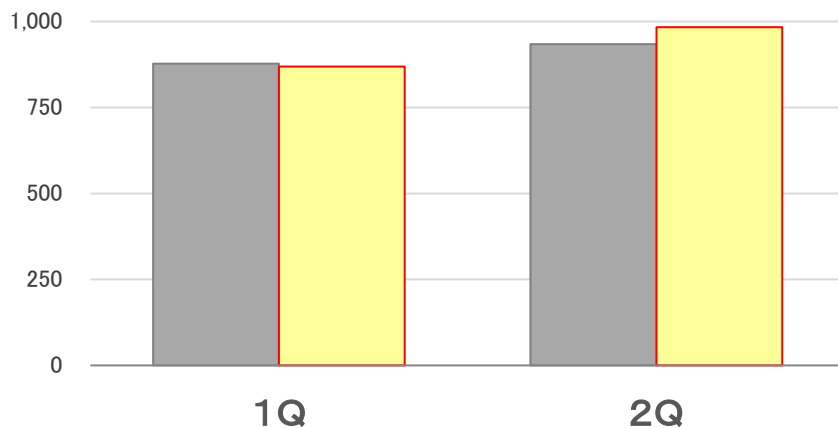
会員数は14,256会員と、前期を上回りました。

(単位：千円)

2025年3月期	1Q	2Q	累計	前期比
売上高	868,886	983,255	1,852,141	102.3%
営業利益	13,772	104,825	118,597	78.6%
2024年3月期	1Q	2Q	累計	前期比
売上高	877,517	933,644	1,811,162	95.8%
営業利益	51,678	99,236	150,914	46.9%

売上高

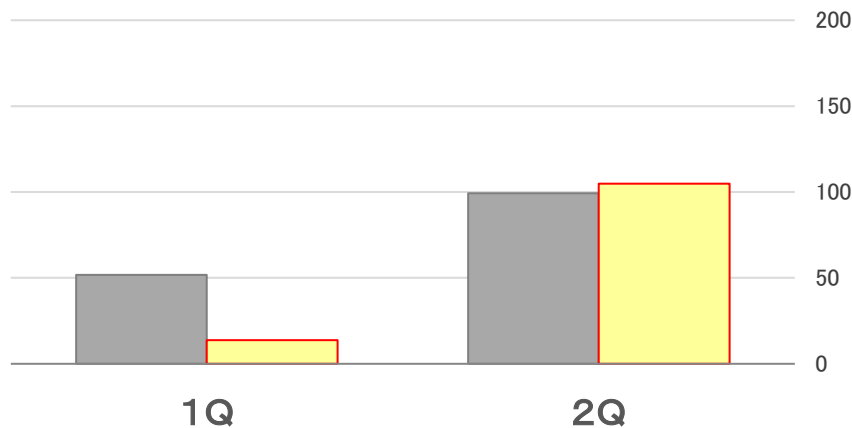
(単位:百万円)



■ 2024年3月期第2四半期(中間期)
 □ 2025年3月期第2四半期(中間期)

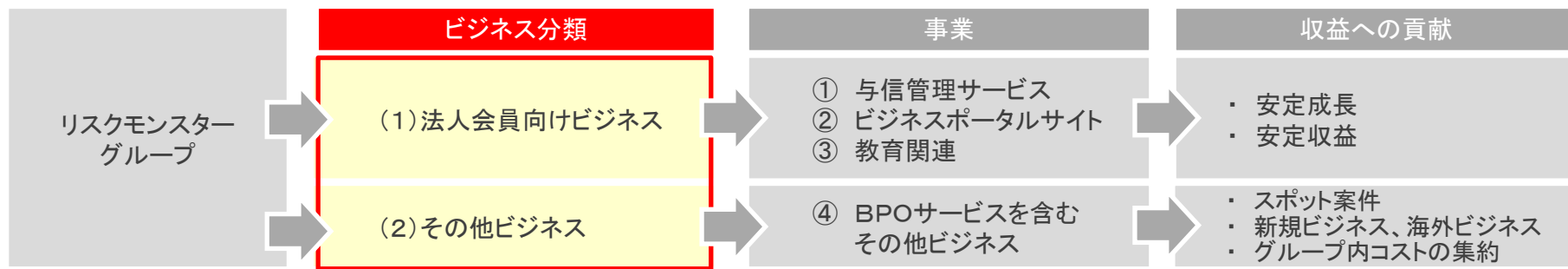
営業利益

(単位:百万円)



■ 2024年3月期第2四半期(中間期)
 □ 2025年3月期第2四半期(中間期)

リスクモンスターグループ ビジネスモデル

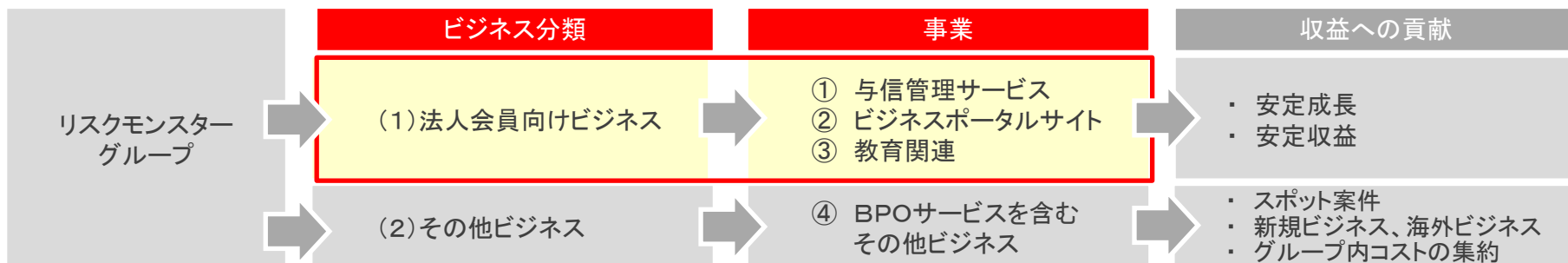


(単位：千円)

	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	前期比
(1) 法人会員向けビジネス	1,402,600	1,390,074	△12,526	99.1%
(2) その他ビジネス	636,968	663,745	26,776	104.2%
売上高 計	2,039,569	2,053,819	14,249	100.7%
(1) 法人会員向けビジネス	279,554	235,994	△43,560	84.4%
(2) その他ビジネス	4,070	6,197	2,127	152.3%
利益 計	283,624	242,192	△41,432	85.4%

(注) セグメント別の売上高はサービス間取引消去前の売上高で記載

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位：千円)

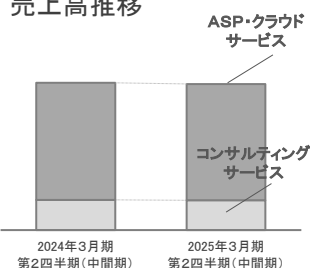
	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	前期比
①与信管理サービス	987,597	980,148	△7,449	99.2%
②ビジネスポータルサイト	302,532	298,517	△4,015	98.7%
③教育関連	112,471	111,409	△1,061	99.1%
法人会員向けビジネス売上高計	1,402,600	1,390,074	△12,526	99.1%
①与信管理サービス	143,204	119,251	△23,953	83.3%
②ビジネスポータルサイト	113,640	100,079	△13,561	88.1%
③教育関連	22,708	16,663	△6,045	73.4%
法人会員向けビジネス利益計	279,554	235,994	△43,560	84.4%
会員数 (ID)	13,399	13,769	370	102.8%

(単位 : 千円)

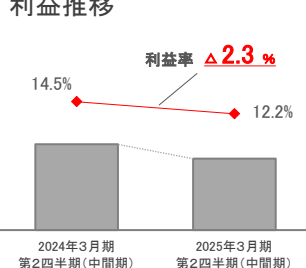
	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	784,893	780,297	△4,595	99.4%
コンサルティングサービス	202,703	199,850	△2,853	98.6%
売上高 計	987,597	980,148	△7,449	99.2%
利益	143,204	119,251	△23,953	83.3%
利益率	14.5%	12.2%	△2.3ポイント	—
会員数 (ID) (注)	7,315	7,744	429	105.9%

(注) サービス相互連携を行う提携会員を含む

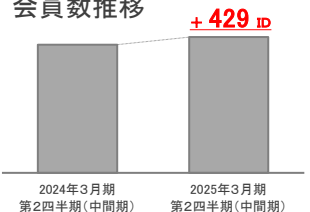
売上高推移



利益推移



会員数推移



◆ 売上高

新規の会員数は増加しており、また、6月より、与信判断ツールである「e-与信ナビ」を新価格体系で提供を開始、順次「商業登記PDF」の機能や情報等を追加、提供データを拡充させて提供し、料金改定後のe-与信ナビの利用状況は予定どおり推移しているものの、既存会員のサービス利用が低調に推移し、前期を下回りました。

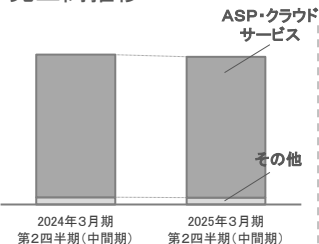
◆ 利益

売上高が減少したこと、独自データベースの充実を図るため企業情報取得の強化を継続しており、それに係る原価が増加していること、また、サービスシステム増強費用が増加したため前期を下回りました。

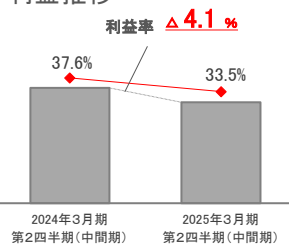
(単位 : 千円)

	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	285,449	282,204	△3,244	98.9%
その他	17,083	16,312	△770	95.5%
売上高 計	302,532	298,517	△4,015	98.7%
利益	113,640	100,079	△13,561	88.1%
利益率	37.6%	33.5%	△4.1ポイント	—
会員数 (ID)	3,096	3,059	△37	98.8%
ユーザー数	147,332	146,250	△1,082	99.3%

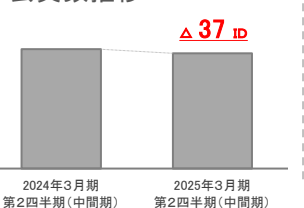
売上高推移



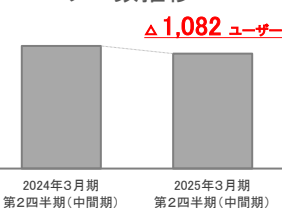
利益推移



会員数推移



ユーザー数推移



◆ 売上高

会員数とユーザー数の減少に伴い利用料が減少したこと等から、売上高は前期を下回りました。

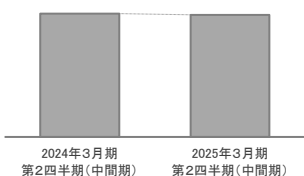
◆ 利益

サービス増強費用の増加、人員増強による費用の増加及び売上高の減少のため、前期を下回りました。

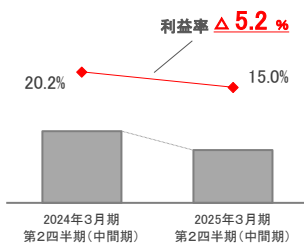
(単位 : 千円)

	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	前期比
売上高 計	112,471	111,409	△1,061	99.1%
利益	22,708	16,663	△6,045	73.4%
利益率	20.2%	15.0%	△5.2ポイント	—
会員数(ID)	2,988	2,966	△22	99.3%

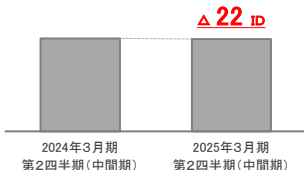
売上高推移



利益推移



会員数推移



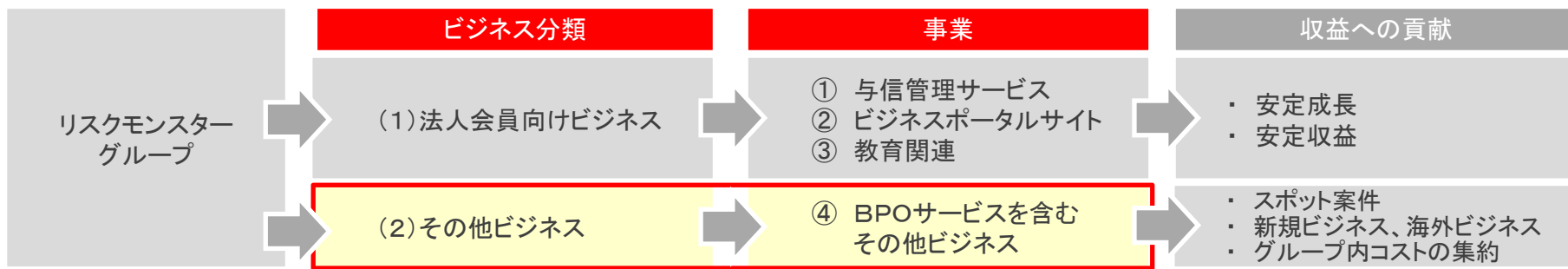
◆ 売上高

売上高はほぼ前期並みとなりました。

◆ 利益

人件費の増加、コンテンツの充実化に伴う原価の増加に伴い、利益は前期を下回りました。

リスクモンスターグループ ビジネスモデル

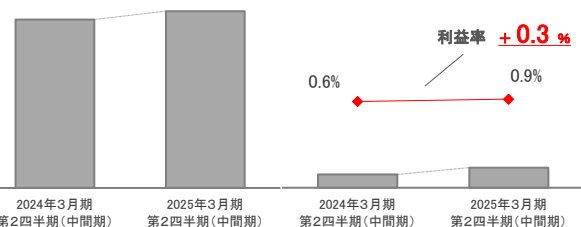


(単位：千円)

	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	前期比
その他ビジネス売上高計	636,968	663,745	26,776	104.2%
その他ビジネス利益計	4,070	6,197	2,127	152.3%
利益率	0.6%	0.9%	0.3ポイント	—

売上高推移

利益推移



◆ 売上高

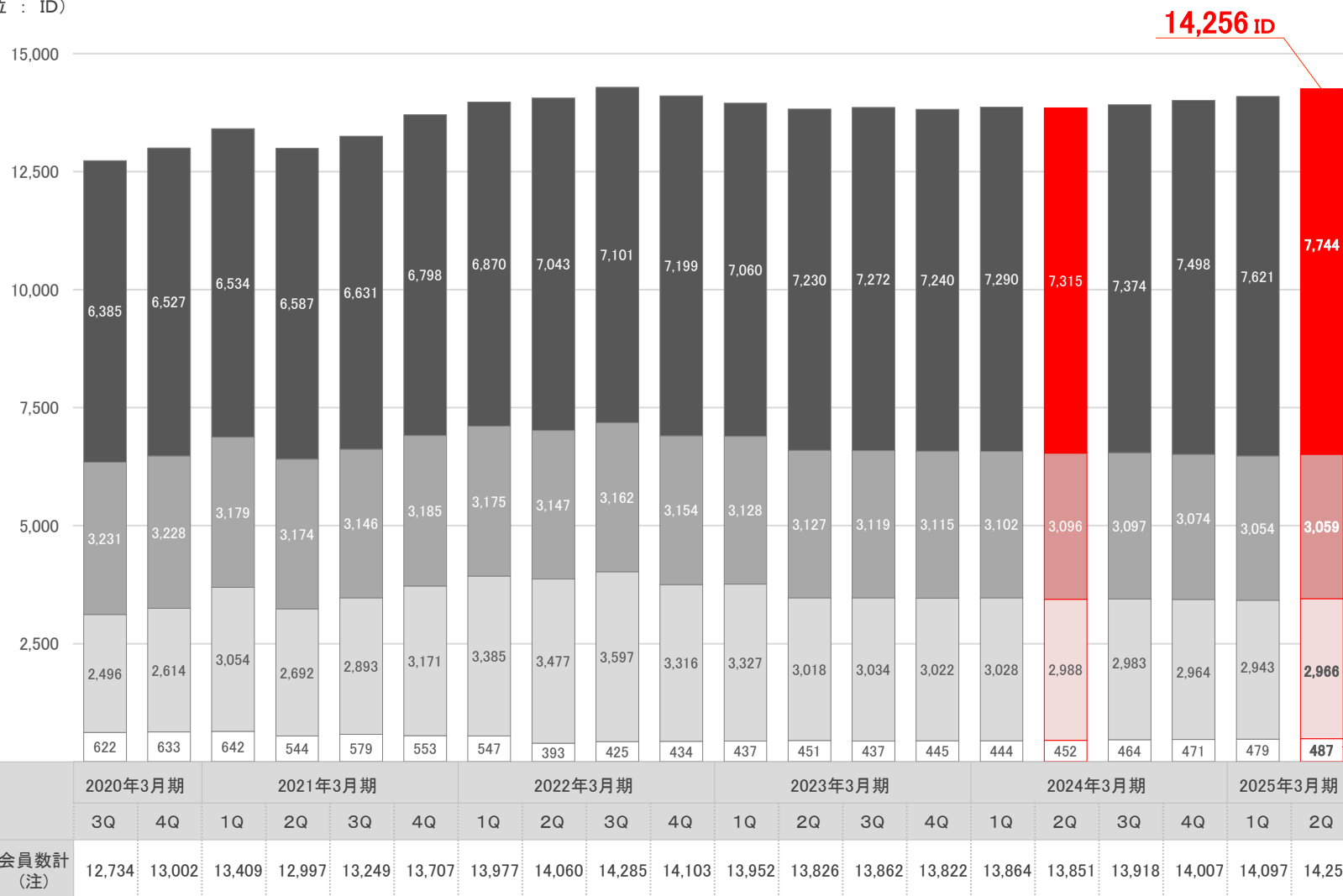
BPOサービス事業は、新規のスポット案件があったこと等から、売上高は前期を上回りました。グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、中国における信用調査レポート及びグループのコスト削減を担うオフショア開発が順調に推移し、売上高は前期を上回りました。

◆ 利益

リスクモンスターチャイナの事業は、円安の影響も受け、売上増加による仕入原価が増加したこと、また、サービス提供拡充のための原価等が増加したことにより、前期を下回りました。

5. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)



与信管理サービス
+429ID
(前年同期増減数)

ビジネスポータルサイト
△37ID
(前年同期増減数)

教育関連
△22ID
(前年同期増減数)

その他ビジネス
+35ID
(前年同期増減数)

(注) 各サービスに重複登録している会員を含む

(単位 : 千円)

	2024年3月期	2025年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	前期比
流動資産	2,295,893	1,735,880	△560,012	75.6%
固定資産	4,490,111	5,756,860	1,266,748	128.2%
資産合計	6,786,005	7,492,740	706,735	110.4%
流動負債	433,092	2,069,800	1,636,708	477.9%
固定負債	330,600	427,316	96,715	129.3%
負債合計	763,693	2,497,116	1,733,423	327.0%
純資産	6,022,311	4,995,623	△1,026,688	83.0%
負債・純資産合計	6,786,005	7,492,740	706,735	110.4%
自己資本比率	87.6%	65.5%	—	—
1株当たり純資産(BPS)	808.06円	657.78円	△150.28円	81.4%

自己資本比率は65.5%となりました。

(単位 : 千円)

	2024年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 第2四半期(中間期)	増減額	前期比
営業活動	360,715	△268,463	△629,179	—
投資活動	△508,511	△656,092	△147,580	—
財務活動	△143,912	209,151	353,063	—
現金に係る換算差額	75	△1,507	△1,583	—
現金増減額	△291,632	△716,912	△425,280	—
現金期末残高	1,611,782	1,005,850	△605,931	62.4%

◆ 営業活動

税金等調整前中間純損失	△1,135,394
減価償却費	370,848
訴訟損失引当金の増加額	1,254,456
売上債権の増加額	△48,519
供託金の預入による支出	△740,000
法人税等の支払額	△42,093

◆ 投資活動

無形固定資産の取得による支出	△447,232
定期預金の預入による支出	△100,000
投資有価証券の取得による支出	△99,804

◆ 財務活動

配当金の支払額	△110,370
短期借入金の純増加額	350,100
長期借入金の返済による支出	△30,160

(単位 : 百万円)

	2025年3月期 第2四半期(中間期)	2025年3月期 予想	差 額	進 捗 率
売上高	1,852	3,700	1,847	50.1%
営業利益	118	200	81	59.3%
経常利益	122	200	77	61.4%
親会社株主に帰属する 当期(中間)純損益(△は損失)	△1,190	△1,160	30	—
1株当たり当期(中間)純損益(EPS) (△は損失)	△160.92円	△156.10円	4.82円	—

(注) 2025年3月期予想は、2024年11月8日の公表値

当社は、株式会社東京商工リサーチ(以下「東京商工リサーチ」)より東京地方裁判所に損害賠償等請求訴訟を提起されておりました件の一審判決を受け、東京高等裁判所に控訴しております。一方、東京商工リサーチからも附帯控訴を受けており、現在係争中であります。

控訴審においては、一審判決の問題点を指摘するとともに当社の正当性を改めて主張してまいります。更なる支払額拡大の可能性をできる限り最小化すべく、2024年9月7日に現在の会員様に対して、当社サービスを通じて取得した東京商工リサーチの情報が掲載された情報を保有している場合は消去をしていただくようご依頼しました。また、2024年9月10日に改めて、退会された会員様に対してもご依頼しました。

また、将来の判決または和解により支払義務が生じる場合に備え、特別損失と訴訟損失引当金を計上しております。控訴審の結果によっては今後訴訟損失の追加計上または訴訟損失引当金の戻入益が発生する可能性があります。

なお、上記の特別損失を計上いたしましても、当社の財務状況や事業活動に支障をきたすものではなく、当社の独自データベース及び当社サービスに何ら影響はございません。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

事業別の取り組み

与信管理サービス事業

「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)となり、与信管理業界におけるリーダーを目指します。

独自データベースのDX運営強化で、格付精度の向上を図るほか、顧客にとって有効度の高い商品、サービス開発、マーケティング戦略へ活用してまいります。

また、顧客へのDX化支援、価格戦略の見直し、既存顧客の利用促進活動を進め、さらに、Salesforceとの連携サービスをはじめ、提携先との連携を今後も拡大いたします。

当社サービスの利用によるカスタマーサクセスの実現を通じ、会員数及び売上アップを目指します。

また、固定費削減やRPA&AI活用をした業務効率化により適切なコストカットを実現し、利益確保に努めます。

ビジネスポータルサイト事業

当事業の核であるグループウェアは、広く一般的に利用されているサービスとの連携を強化することで安定成長を目指します。また、サポートセンターの機能強化、Webマーケティング強化、スマホアプリの強化(15万ユーザーのアクティブ化)により、ポータル事業としての深化と強化を実現し、サービスの浸透度を深めてまいります。

教育関連事業

引き続きコンテンツ充実を進めることで、動画プラットフォームとしてのクオリティ向上を図りグループの主力サービスとすべく事業拡大を目指します。

なお、コンテンツ強化の一策として、リスキリングニーズへの対応、成長企業向けコンテンツの充実、クライアントごとのニーズに合わせた提案を進めます。また、受講生からのフィードバックを踏まえ、ユーザー視点での満足度向上も目指します。

BPOサービス事業

BPOセンターの運営で培った強み、ノウハウを活かし、VERIFY機能のクラウドサービス化の早期実現とAI-OCRの活用で幅広いサービス展開をすすめます。また、医療関連ビジネスのBPO支援や、独自データベースのメンテナンス力の強化等グループ全体のコスト削減を図ってまいります。

また、これまで2拠点に分かれていた関西センターを統合し、大阪支社と同ビルへの移転を行いました。センター間の連携強化及び業務効率化を促進し、また体制管理が統一されることによって、さらなる原価低減につなげてまいります。

その他サービス

中国独自サービスの継続的開発、グループ連携強化およびオフショア開発の品質向上を進めてまいります。

リスクモンスターグループ の評価 (東証スタンダード:3768)

【RM財務格付】
2025年3月期
第2四半期(中間期)

a

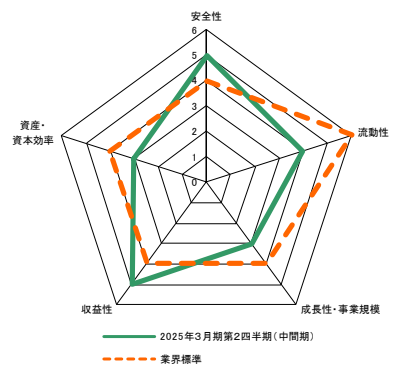
【RM財務格付定義】
a格 財務内容は非常に良好です。
b格 財務内容は良好です。
c格 財務内容は概ね良好です。
d格 財務内容に若干の懸念があります。
e格 財務内容に懸念があります。
f格 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】
a格 … 0.1% d格 … 2.0%
b格 … 0.5% e格 … 3.0%
c格 … 1.0% f格 … 6.0%

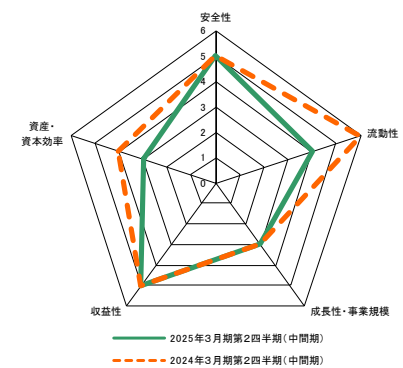
【RM財務格付履歴】

2025年3月期 第2四半期(中間期)	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期
a	a	a	a
2021年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2018年3月期
a	a	a	a
2017年3月期	2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期
a	a	a	a

レーダーチャート(業界標準比較)



レーダーチャート(過去データ比較)



安全性	2025年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆☆☆
	2024年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆☆☆
	自己資本比率	☆☆☆☆☆☆
	実質自己資本比率	☆☆☆☆☆☆
	借入金利率	☆☆☆☆

流動性	2025年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆☆
	2024年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆☆☆☆
	流動比率	☆☆
	当座比率	☆☆☆
	現預金回転期間	☆☆☆☆☆☆

収益性	2025年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆☆☆
	2024年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆☆☆
	売上高経常利益率	☆☆☆☆☆☆
	経常収支比率	☆☆☆☆☆☆
	ROA(総資産利益率)	☆☆

成長性・ 事業規模	2025年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆
	2024年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆
	売上高増減率	☆☆☆☆
	売上高規模	☆☆☆☆
	経常利益増減率	☆☆

資産・ 資本効率	2025年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆
	2024年3月期 第2四半期(中間期)	☆☆☆☆
	売掛債権回転期間	☆☆☆☆
	棚卸資産回転期間	☆☆☆☆
	総資産回転率	☆

※ 実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※ ☆☆☆☆☆(良い)～☆(悪い)にて表示しています。
☆が表示されない項目は、評価対象外です。
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

※ ROA及び総資産回転率は、それぞれ連結業績予想値で算出しています。

総合評価	財政面および収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
安全性	財政面および収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
流動性	当座資産は潤沢とは言えないものの、資金余力が見込まれる事から、決済能力に不安は少ないと考えられます。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しているものの、収益力が低下しているため、収益基盤にやや不安があります。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼動状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2025年3月期第2四半期(中間期)連結決算におけるRM財務格付は、a~fの6段階中、最高位の「a」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、訴訟に関して将来発生する可能性のある損失見込額として計上した訴訟損失引当金約1,254百万円を主因に、親会社株主に帰属する中間純損失約1,190百万円の計上となり、純資産額は2024年3月期に比べ約1,027百万円の減少となった。これにより、自己資本比率は、前期87.6%から65.5%へと22.1ポイントの大幅低下となったが、上場会社の自己資本比率の平均が30~35%程度であることを考慮すれば、依然として高い水準を保っているといえる。

借入金に関しては、2024年3月期から約320百万円の増加となったものの、事業収益を償還原資とみた場合の借入返済年数は2年以内に収まっているなど、安全性に関して高い水準となっている。

流動性に関しては、現預金が2024年3月期から約617百万円の減少となり流動資産が減少したことと、訴訟損失引当金の計上等により流動負債が約1,637百万円増加したことを主因として、流動比率83.9%(前期比446.2ポイント低下)および当座比率78.2%(前期比426.8ポイント低下)はいずれも100%を下回る水準まで低下を余儀なくされている。月商の3.6か月分に相当する現預金残高約1,106百万円を有しており、短期的な資金繰り懸念は低いものの、流動性の悪化は否めない。

【損益計算書】

連結売上高においては、主力の与信管理サービス事業の売上高が前年同期比99.2%と伸び悩み、法人会員向けビジネス売上高合計が前年同期から約13百万円減少したものの、その他ビジネスにおいて前年同期比104.2%の伸長となったことで、全体では、前年同期比102.3%の増収推移となっている。

また、利益面において、売上高経常利益率6.6%は決して低い水準ではないものの、独自データベース拡充のための企業情報取得強化の継続や、サービスシステム増強等に係る費用増加によって、売上高総利益率が49.1%(前年同期)から46.0%(当期)へ低下している点や、売上高経常利益率が7.9%(前年同期)から6.6%(当期)へ低下している点は、引き続き収益性の改善点といえよう。

リスクモンスター企業理念



顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナルリズムを繁栄の源泉にしよう

2021年度～ 長期ビジョン

RismonG-30

キーメッセージ

新しいスタンダードを提供する

社会に有用な付加価値のある信頼されるサービスを提供

信用を判断するだけでなく信用を生み出す

公正で安心できる仕組み作りの役割を担う

「第8次 中期経営計画(2024年度～2025年度)」初年度

積極的に付加価値を高める投資を行う。ROE 7%以上 を持続させる。

① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

② 新規事業投資 業務提携

シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係構築を目的に、アップセル・クロスセルにつながる投資、付加価値を高める投資を、積極的に実行する。

③ 株主還元

配当性向30%を目標とし、継続的かつ安定的な配当を目指す。

与信管理サービス事業



- 独自データベースのDX化運営強化
- 提供データ拡充によるサービス機能向上
- 価格戦略の見直し
- 更なるAIの活用
- スマホアプリの強化
- RPA、AIを活用した業務効率化による固定費削減

教育関連事業



- コンテンツ数アップと質の向上
- リスキリングニーズへの対応
- 成長企業へ向けコンテンツ拡充
- クライアントニーズに合わせた提案

ビジネスポータルサイト事業



- 広く一般的に利用されているサービスとの連携を強化
- サポートセンターの機能強化
- Webマーケティングを強化
- スマホアプリの強化(15万ユーザーのアクティブ化)

BPOサービス事業



- VERIFY機能を向上
- 反社チェックサービス強化
- AIを活用したサービスの強化
- 新たな海外センター構築
- グループサービスとの連携強化
- AI-OCR活用

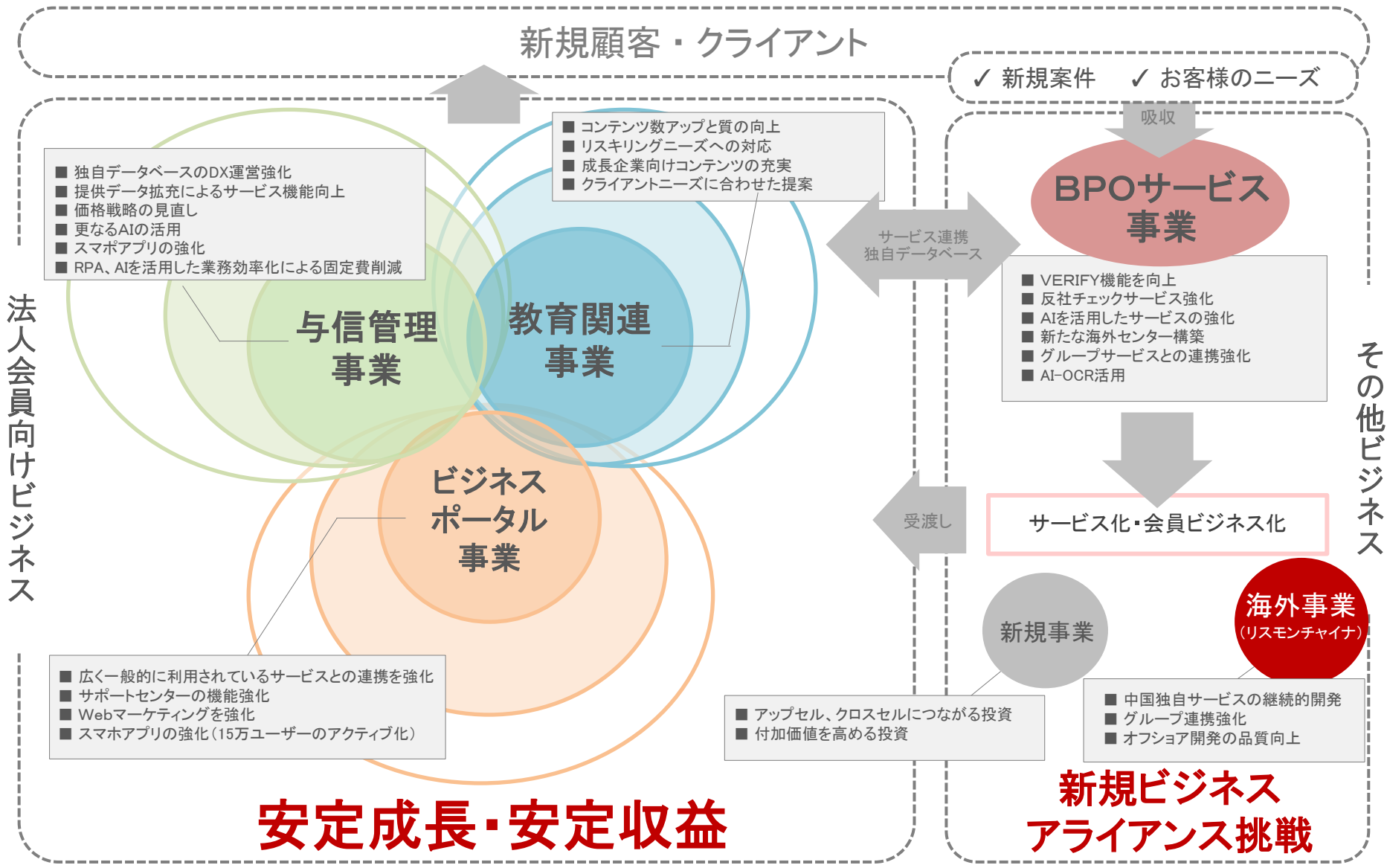
海外事業(中国(上海))



- 中国独自サービスの継続的開発
- グループ連携強化
- オフショア開発の品質向上

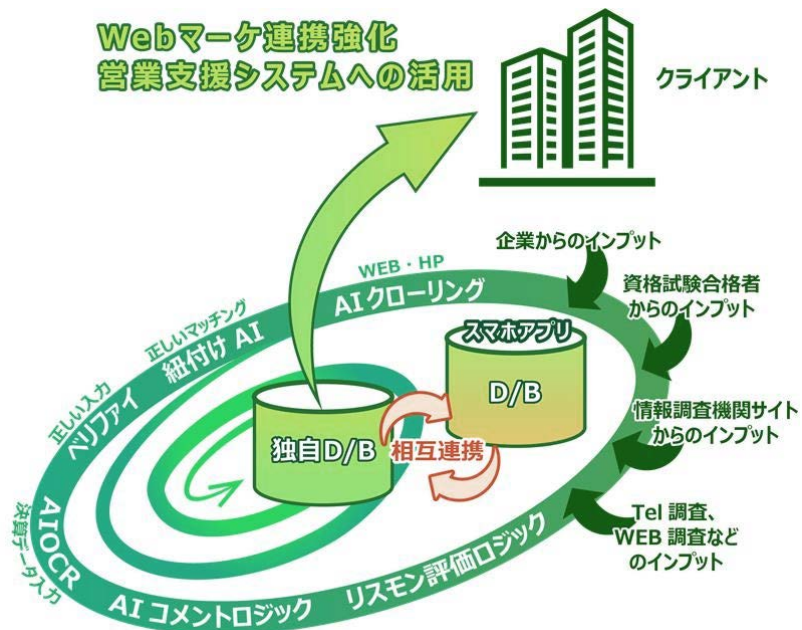
新規事業

- アップセル、クロスセルにつながる投資
- 付加価値を高める投資



当社は、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ、「新しいスタンダードを提供する」をキーワードに、長期ビジョン『RismonG-30』を制定し、この目標を実現するために、「DX(デジタルトランスフォーメーション)への取組」を発信し、以下の取り組みを進めております。

- AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化
- クライアントへのDX化支援サービスの展開
- デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進



2022年3月に経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得

具体的なクライアントへのDX化支援サービスとして、以下のサービスをリリースしました。

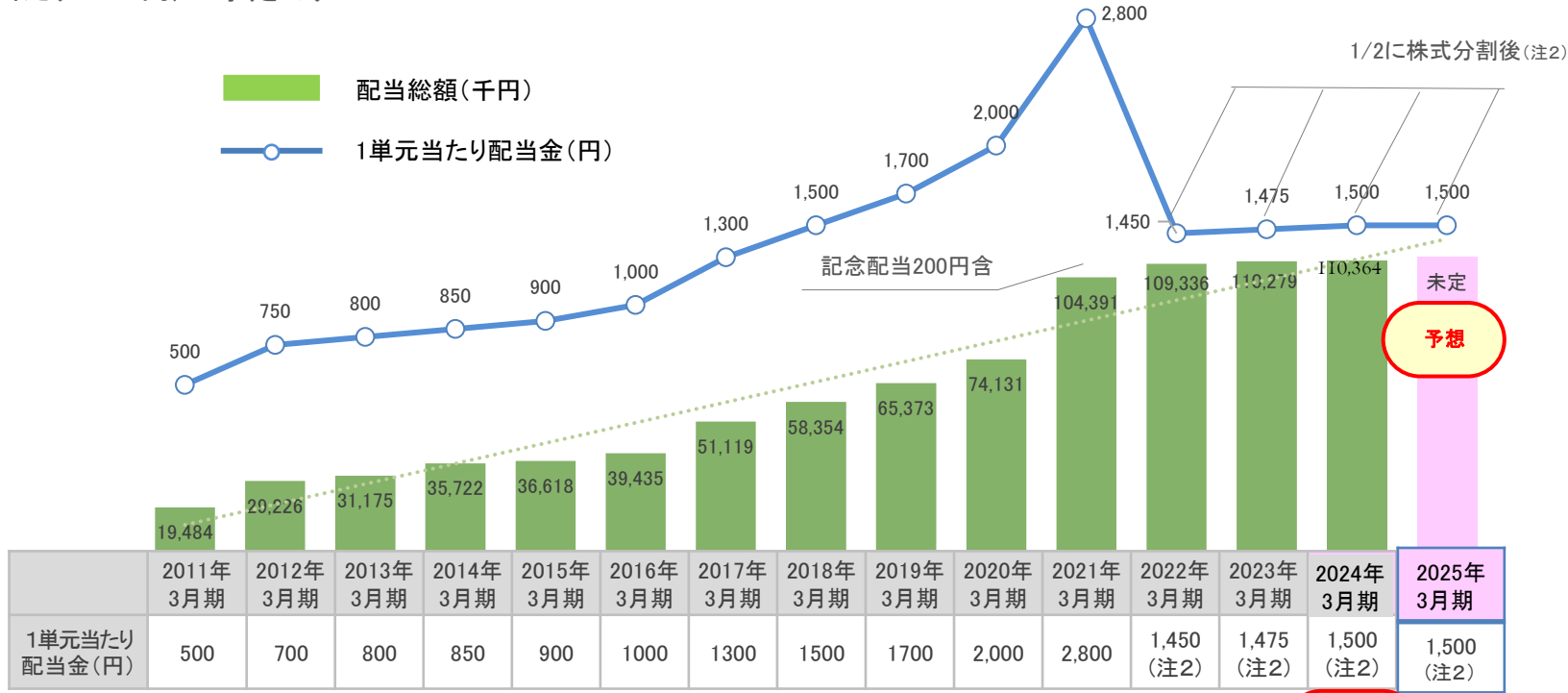
- ▶ 「リスモンスター財務診断シート」申込受付開始(2024年4月)
- ▶ 格付ロジックを改定(2024年6月、7月)

株主還元

- ◆ 当社は従来より株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として位置付けており、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指しております。
- ◆ 2024年3月期は、当初の予定通り、1単元当たり1,500円(1株当たり15.00円)の配当を実施し、13期連続増配いたしました。
- ◆ 2025年3月期の配当金は、前期と同額の、1単元当たり1,500円(1株当たり15.00円)の予定です

新株予約権

- ◆ 当社の取締役及び当社グループの役職員に対して有償の新株予約権を発行すること、また、当社グループの従業員に対して、無償にて新株予約権を発行することを決議しております。
- ◆ これらにより、取締役及び全社員が一丸となり、株主の皆様との価値を共有することで、業績向上に対するコミットメントをより高め、中長期的な当社の業績拡大及び企業価値の増大を目指してまいります。



(注1) 1単元 = 100株

(注2) 2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割

13期連続増配

株主優待制度

当社は、毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を6ヶ月以上保有されており、かつ、300株(3単元)以上の当社株式を保有する株主様を対象とした株主優待制度を設けております。

また、当社株式を1年以上保有されており、かつ、600株(6単元)以上の当社株式を保有する株主様におかれましては、お好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待となっております。優待商品につきましては、日本各地の名産品や、防災用品、当社オリジナル商品等がございます。



所有株式数	保有期間			
	6ヶ月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
300株以上	当社指定商品			
600株以上	当社指定商品	1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
1,000株以上		2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
2,000株以上		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

第24回 定時株主総会

2024年6月25日に第24回定時株主総会を開催いたしました。本年も、より多くの株主の皆様に参加いただくため、株主総会のWEB配信を行いました。

事前質問を多くいただきましたこと、感謝申し上げます。多くの株主様にご視聴いただき、また開催に際し、株主様にご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

第24回 定時株主総会 配信動画



リスモンちゃんねる 配信

「リスモンちゃんねるIR」では当社のIR動画をインターネットで公開しております。

また、YouTube「リスモンちゃんねる」では、一般の方には馴染みの薄い「与信管理」や「リスクモンスターの活動」について、広く普及することを目的に、企業や仕事にまつわるテーマの動画を配信しております。

当社独自の様々な切り口でのアンケート調査を解説する「リスモン調べ」や誰もが普段感じているお金に関する疑問を解決する「学校や会社では教えてくれないお金の話」、仕事での取引トラブルをドラマ仕立てで解説する「THE解決！取引トラブル」などエンターテインメント性の高い動画が特長です。

< リスモンちゃんねるIR >



お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせ

【Mail】

ir@riskmonster.co.jp

【お問い合わせフォーム】

<https://www.riskmonster.co.jp/form/inquire/ir/index>

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

※ 実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により将来の見通し等と異なる場合があります。



【会社名】

リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5

RMGビル

【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

<https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社

日本アウトソース株式会社

<https://www.outsource.co.jp>

株式会社シップス

<https://www.ships-it.co.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司

<https://www.rismon.com.cn>

TOPICS



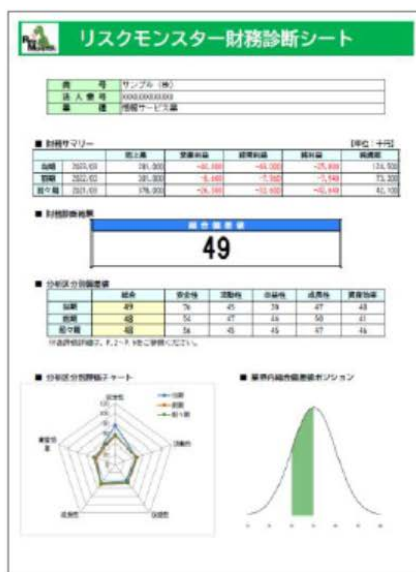
■ 企業の財務偏差値を無料診断

2024年4月15日、リスクモンスター株式会社(以下「リスモン」)は、「リスクモンスター財務診断シート」の提供を開始しました。これは、企業の決算情報を安全性／流動性／収益性／成長性／資産効率の5つの観点から多角的に分析し、リスモンの540万社超の企業データベースが保有する豊富な決算情報との比較により、財務診断の結果を業界での全国順位に基づく「偏差値」を記したものです。

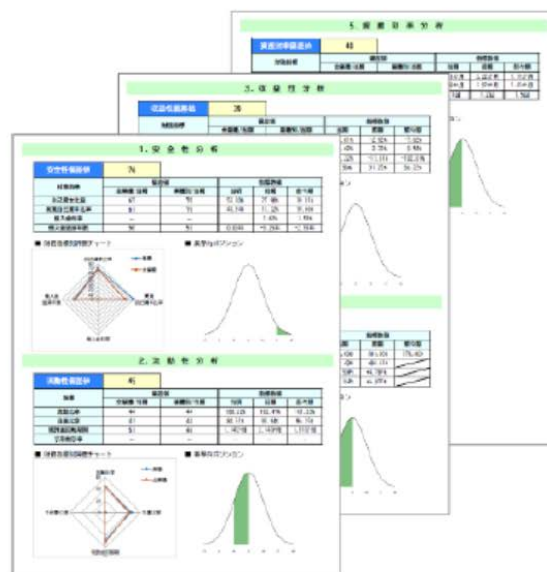
本サービスは、リスモンに決算書を提出していただいた企業ご担当者様へ、無料でご提供いたします。

「リスクモンスター財務診断シート」を確認いただくことで、企業ご担当者様は自社の財務内容を、客観的に把握することが可能です。財務指標評価や業界内ポジションを把握し、経営戦略策定の参考資料としてお役立てください。

■ 提供イメージ



総合評価



分析区分別評価

■6月1日に料金改定を実施

2024年6月1日より、リスクモンスター株式会社は、物価上昇が続く中、会員企業への与信支援を強化するために、与信判断ツール「e-与信ナビ」に「商業登記PDF」を追加するなど提供データを拡充させたうえで、料金を25%ダウンの1,200円(税別)に改定いたしました。

■無料体験施策を実施

業界トップクラスの価格水準と情報量を両立する弊社主力サービス「e-与信ナビ」を最大10件無料のお試しIDで、体験していただくことが可能です。

■参考：与信管理サービス3社 比較表(当社調べ)

日本国内における与信管理サービス提供会社大手3社(当社含む)のWEB取得サービスを比較。リスモンは1,200円で61項目の企業データを提供し、与信管理サービス業界トップクラスの価格水準と提供項目数を実現します。

	リスモン	A社	B社
企業データ料金(税別)	1,200円	1,200円~1,600円	1,200円
データ提供項目数	61項目(※)	約30項目	約40項目
指標の成績公開	公開	非公開	非公開
上場区分	東証スタンダード	未上場	未上場

※ リスモンサービスでは、「RM与信限度額」、「商業登記PDF(※4)」、「認証取得情報」、「業界天気図」など、他社が提供していないオリジナル情報を取得可能です。

RISMON STANDARD PRICE

「e-与信ナビ」
1,600円 ⇒ 1,200円 (25%DOWN)

■ 「決算書分析システム」～95%の高い認識精度、財務分析業務の効率化を実現～

リスクモンスター株式会社(以下「リスモン」)は、リスモンの「決算書分析システム」が「IT導入補助金2023」につづき、「IT導入補助金2024」の対象ツールとして認定されたことを公表いたしました。

リスモンの「決算書分析システム」は、財務分析に特化した与信判断ツールです。独自技術の一つであるAI-OCRを活用し、煩雑な決算書分析業務の効率化を実現します。一般的なAI-OCRでは困難な、統一された勘定科目フォーマットへの出力・統合や、財務分析結果の反映が瞬時に可能なため、財務分析の知識がない営業担当者でも使いやすい設計としています。

取引先より決算書を入手したが分析手法がわからない、決算書分析にかかる時間を短縮したい、取引先の信用力判定に困っている、などの課題解決にお役立ていただけます。



■ 「J-MOTTOサービス」～グループウェアや勤怠管理システム導入に最大1/2の補助金～

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、同社が提供するJ-MOTTOサービスのラインナップが、経済産業省 中小企業庁が推進する「IT導入補助金2023」につづき、「IT導入補助金2024」の対象ツールとして認定されましたことを公表いたしました。

本制度を利用することで、導入費用に対して最大1/2以内の補助金交付が受けることが可能です。

■ IT導入補助金2024について

「IT導入補助金」とは、中小企業・小規模事業者がITツールを導入する際に費用の一部が補助される、中小企業庁監督の補助金制度です。

※給付金の交付決定には、事務局による審査があります。

低コストグループウェアなら
J-MOTTO

- スケジュール 15
- WEB勤務
- 文書管理
- Todo
- 見積予約
- ワークフロー

最大半額補助

導入実績 4,000社
14人

ITトレンド専門ベンチング
グループウェア 第1位

■ 景気回復／原材料高騰など企業に明暗、相対する影響をロジックに反映

2024年6月16日、リスクモンスター株式会社(以下「リスモン」)は、RM格付ロジックの改定を実施いたしました。

昨今の日本経済には、インバウンド需要の回復や日経平均株価が史上最高値を更新するなど明るい兆しも見られます。一方で、ウクライナやイスラエルの情勢不安の長期化、急激な円安進行や物価上昇など、国内外に多くのリスク要因があり、経済全体の動向には注意が必要な状況が続いています。また、賃上げ機運の高まりや日本銀行によるゼロ金利政策の解除など、目まぐるしく変化する企業の事業環境下においては、商品・サービス価格戦略の見直しやDX推進の取り組み有無の差によっても企業存続・倒産の明暗が分かります。これらの時代変化を踏まえた企業評価基準の見直しが必要であることから、RM格付ロジックの改定を実施いたしました。

日本企業が厳しい経済情勢下で“攻めの取引”を続けるために、リスモンはRM格付精度の維持・向上を続け、お客様へ与信管理の新しいスタンダードを提供してまいります。

■ 格付ロジック改定のポイント

1) 倒産確率の適時化

経済環境や景気動向により、常に変化する倒産トレンドに対応するために、定期的に倒産実績の集計を行い、格付と倒産確率の乖離が生じないように調整を行っています。

2) 定量分析の強化

収益性分析を強化、特に、中期的な収益変化に注目し、企業規模や業種に応じた収益構造の特徴を評価指標に反映しています。

■ 与信管理に新しいスタンダードを提供

リスモンでは、「あなたの会社のe-審査部」として、与信審査・企業分析のプロであるアナリストが、時世に応じた「RM格付」ロジックを開発してまいりました。

リスモンは、今後もお客様、ひいては日本企業の経済活動を「与信管理の新しいスタンダード」でサポートしてまいります。



リスモンは経済産業省が定める「DX認定事業者」です

<https://www.riskmonster.co.jp/corporate/dx/>

■ RM格付を新たに30万社以上へ付与、業歴の浅い新設法人の信用評価分析を強化

2024年7月21日、リスクモンスター株式会社(以下「リスモン」)は、新設法人を対象として新たに30万社以上にRM格付を付与いたしました。

RM格付は、企業を6段階のA格～F格(細分化を含めると9段階)に分類した倒産に特化した与信管理指標であり、その倒産判別力は90%超を維持し高い精度を誇ります。

今回、これまでの格付ロジックを補完する取り組みとして、新設企業の信用評価分析を強化する「新基準」を導入いたしました。

リスモンの格付ロジックは540万社超の生存企業情報と100万社超の倒産企業分析データを、専門アナリストとAIが解析・評価して構築したものです。今回追加する「新基準」では、AIによる生存企業ビッグデータの学習により、対象企業の定性情報から資金力を類推するほか、倒産企業ビッグデータの学習から過去の倒産傾向と比較し、業歴の浅い法人に対しても推定倒産確率を算出することが可能となりました。

業歴の浅い企業は、定量・定性面ともに公開されている情報が少ないため、従来は信用判断が難しいとされてきましたが、この度、格付ロジックを補完する「新基準」を新設法人に適用することにより、新たに330,354社に対してRM格付の付与を実現いたしました。

■ 格付ロジック改定のポイント

1) AI技術とアナリストの知見を融合

RM独自データベースの生存企業情報と、累計100万社超の倒産企業分析データを解析し、AIとアナリストによる格付ロジックを生成しています。

2) 格付付与件数の増加

新格付ロジックは新設企業を対象としております。従来判断が難しくRM格付が付与されていなかった業歴の浅い企業に対しての「新基準」を追加いたしました。

3) 従来ロジックの補完

今回の新基準追加は、従来の格付ロジックを改廃するものでなく、補完するものとして導入いたしました。

■ 無料アプリ「Riskmonster for Salesforce (ベータ版)」提供開始！

2024年7月1日、リスクモンスター株式会社は、顧客管理プラットフォーム「Salesforce」をご利用の企業様において、無料アプリ「Riskmonster for Salesforce (ベータ版)」経由で、リスモンが提供する国内最大級540万社超の独自企業データベースを利用することができるようにいたしました。

この連携によって、取引先情報の正確な保持・反映が可能となることに加え、入力にかかる時間を大幅に短縮できます。また、アプリ内のデータベースから追加できる電話番号を利用した営業活動への活用や、エリアや業種情報を利用して顧客属性分析やマーケティング活動に活用いただくなど、営業活動の効率化や工数削減、DX推進にお役立ていただけます。



540万社超
企業データ × 連携

540万社を超えるRiskmonsterの
企業データをSalesforceと連携可能に!

5,400,000 COMPANY DATA

■ 「Rismon企業データ for Salesforce」

2024年9月6日より、リスクモンスター株式会社は、Salesforce AppExchange上で「Rismon企業データfor Salesforce」を発表しました。これにより、お客様のSalesforceシステム上で、リスクモンスターが提供する540万社超のメンテナンス済み企業情報を参照し、営業やマーケティング活動の工数削減、DX化につなげることができます。

■ IPO準備企業・上場企業を継続サポート

2024年8月22日、リスクモンスター株式会社(以下「リスモン」)は、企業担当者からの「記事検索ツールは取引先の会社名や代表者で地道に調べる”検索地獄”でっらい」「上場後は取引先が増えるので毎年リストアップからやり直し」「事業が拡大して今までのやり方ではパンクしてしまう」といったお悩みを解決すべく、『反社チェック定期サービス』を提供開始します。

初回コンサルティングサービスを受けた後は、新規取引が発生する際にリスモンのサービス上で企業情報を検索するだけ。以降は自動的に取引先情報がデータベースに蓄積されていきます。3ヶ月毎や年一回などの希望するタイミングで、チェックすべきポイントが分かりやすいように過去との“差分”を明示した定期レポートを提供します。

反社チェック定期サービス

定期見直しの検索地獄や業務負担から解放

SERVICE

**初回反社チェックで、
取引先データを自動保存**

**3ヶ月毎に一括見直し、
変更箇所をレポートिंग**

反社チェックの効率化を実現

■ サービスの特長

1) 定期的なレポート提供

反社チェックファイルに保存された企業情報を、リスクモンスターが一括して再取得します。その後、前回実施時から反社チェックヒートマップの内容に変更があった取引先について、その概要をまとめたレポートをご提供します。

2) リスクを色分け表示するからぱっと見で判断しやすい

反社チェックヒートマップは、4つの情報区分(反社警戒、事件事故、訴訟問題、行政処分)と4つの法人・個人区分(商号、代表者、役員、グループ)を組み合わせた4×4の16マスで表示します。

情報の重要性和該当件数に基づいて5段階に色分けされており、リスクが高まるにつれて濃い色で表示されます。

色が付いたマスをクリックすると詳細情報が確認できます。

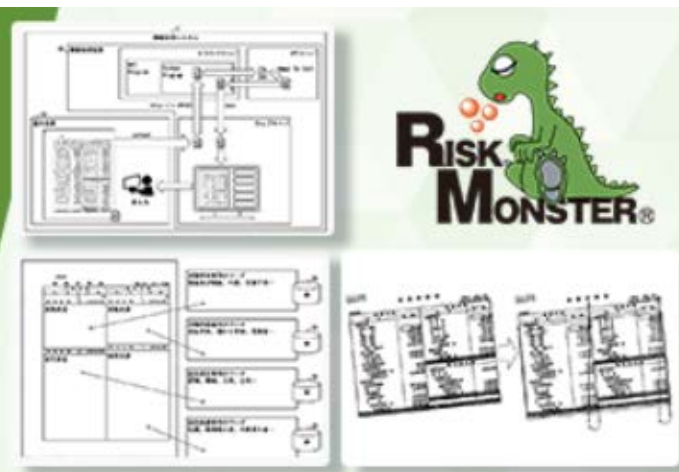
3) リスクヒットした場合の対策までサポート

取引先が反社チェックヒートマップでリスクヒットした場合の、対応策や有事の管理体制など、今後の体制構築にお役立ていただける具体例をご提案します。

2024年9月20日、リスクモンスター株式会社は、当社が提供する「決算書分析システム」に関連するAI-OCR技術の特許を取得いたしました。

- ・特許番号 特許第7558730号
- ・発明の名称 情報処理装置、情報処理方法及びプログラム

リスクモンスタアの 決算書AI-OCRが 特許取得



■ 特許の概要

本特許技術は、「決算書の画像読み取りと、適切な勘定科目及びそれに紐づく金額を自動で出力する」プログラムです。

① 文字の読み取り精度向上

独自技術により決算書画像データの歪みを補正し、背景ノイズを取り除くことで、文字を明瞭化し、OCRの読み取り精度を大幅に向上させました。

② 高精度な勘定科目の自動選定

決算書のフォーマットを分析し、事前に登録された勘定科目と照合しながら、最も近いものを高精度で自動選定します。勘定科目の記載エリアに応じて、突合科目を動的に変更できるようになっています。

③ ユーザーによる修正機能

多様な決算書フォーマットに対応し、勘定科目を正確に出力するだけでなく、必要に応じてユーザーが簡単に修正できるインターフェースも提供しています。

Web会議の開催がより簡単に！

2024年4月26日、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、J-MOTTOグループウェアのスケジュールから「Zoom」のミーティング予定を登録できる機能をリリースいたしました。

この連携機能を利用することにより、J-MOTTOのスケジュールに入れた会議や打ち合わせの予定から自動でZoomミーティングを登録し、参加URLをJ-MOTTOのカレンダーに連携させることができます。

これまでJ-MOTTOとZoomのそれぞれに予定を入れる必要があったものを、J-MOTTOのスケジュールに登録するだけで良くなり、日々の予定登録の手間が大幅に削減されます。



ミーティング
の登録

ミーティングURL
の連携

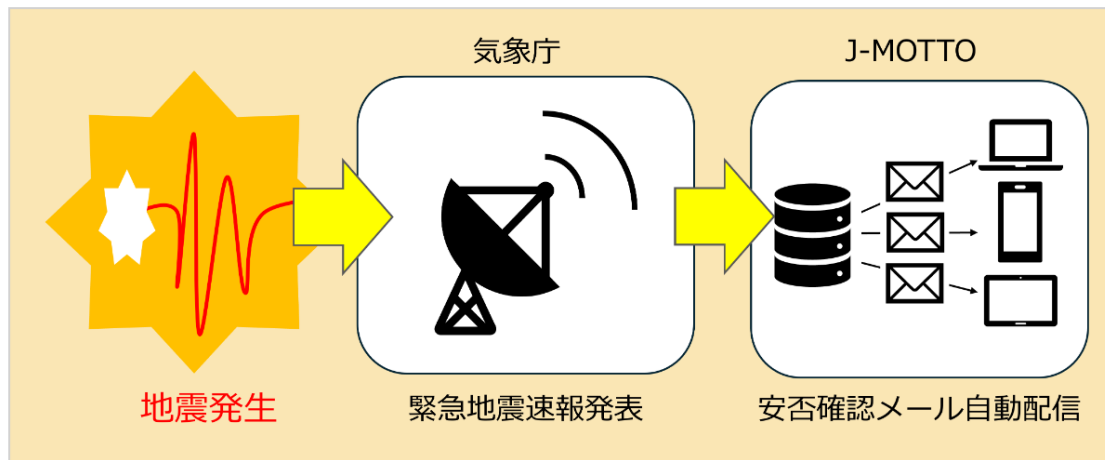
J-MOTTO スケジュール

Zoom ミーティング

■ 緊急地震速報と連動！

2024年6月27日、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、気象庁の緊急地震速報情報と連携した、安否確認メールの自動配信機能を提供開始しました。

この機能を利用することで、あらかじめ指定した地域で震度5以上の地震が発生した場合、J-MOTTOグループウェアの安否確認機能から自動的にメールが配信されます。これにより、地震発生から状況の確認、回答の集計までをよりスムーズに実施可能です。J-MOTTOグループウェアをご利用中の会員様は無料でご利用いただけます。



■ 安否確認メール自動配信3つのメリット

- 担当者が離席していても安否確認メールが自動配信される！
- 複数の地域指定が可能で、会社周辺エリアをすべて設定可能
- 気象庁の緊急地震速報と連動しているので情報が正確